# 仕　様　書

1. 件名　　重粒子線治療計画装置 HIPLAN の DICOM 形式計画データ出力機能の開発

2. 数量　　一式

3. 目的

当研究所独自の治療計画装置 HIPLAN に対して、その扱う独自形式の重粒子線治療計画データを DICOM 形式に変換し、外部へ送信する機能を追加する。この機能により、過去の治療計画情報を汎用 DICOM サーバーで保管し、医療情報として広く利用できるようにする。

4. 納入期限　2013 年 12 月 27 日

5. 納入場所　病院棟地下 1 階治療計画室

6. 仕様

1）HIPLAN で生成されたデータを変更することなく選択・参照すること。

2）HIPLAN の独自形式データから DICOM 形式に変換すること。

| | |
|---|---|
| RT Dose | 線量分布（計画単位）を変換する。 |
| RT Structure Set | ROI（標的、重要臓器）を変換する。 |
| RT Ion Plan | 患者情報、照射情報、ビーム情報を変換する。 |
| CT Image | 計画に使用した HIPLAN 形式の CT 画像を変換する。 |

3） 変換後の DICOM 形式のデータにおける必須情報（必須タグ及び計画データ利用に必要な情報）について、HIPLAN で扱う治療計画情報に存在しない場合は、別途協議の上整合性を保つようにすること。

4） 変換した DICOM 形式のデータを別途指定する DICOM サーバーに送信すること。

5） リストアップした任意数の患者及び計画に対して一度の操作で連続的に変換と送信を実施するバッチ処理を可能とすること。

7. 提出図書

| | |
|---|---|
| 1）設計仕様及び取扱説明書 | 2 部＋電子ファイル版 1 部 |
| 2）試験成績書 | 1 部 |

8. 検査

納入完了後、当研究所職員が所定の要件を満たしていることを確認したことをもって検査合格とする。

9. その他

(1) 外部の DICOM サーバーとの接続及び画像閲覧機能を含めて動作検証を行なうこと。

(2) HIPLAN のデータ形式とデータ内容に関する資料は存在しないので、情報を正しく読み取るソフトウェアの設計には現状の HIPLAN システムの分析が必要である。これは本作業に対して必要な範囲でのみ許可し、分析結果の当研究所以外への利用は禁止する。

(3) 本件で扱う情報には患者個人情報が含まれるので、持ち出し禁止とする。また、本作業目的以外の使用を禁止する。

部課(室)名　物理工学部治療システム開発室

使用者氏名　兼松　伸幸